

1号議案

2022年度（第100期）
事業報告書

（ 自 2022年3月 1日
至 2023年2月28日 ）



一般社団法人 日本機械学会

1. 法人全般に係る事項

1・1 役員に関する事項

1・1・1 役員就任者

役名	氏名	就任年月日	理事別	手当	常勤・非常勤	現職	備考
代表理事	加藤 千幸	2021. 04. 22	会長	なし	非常勤	東京大学 教授	} 一般社団法人移行登記に伴う代表理事設置による
〃	伊藤 宏幸	〃	筆頭副会長	〃	〃	ダイキン工業(株) リサーチ・コーディネーター	
理事	松本 敏郎	2022. 04. 21	副会長	〃	〃	名古屋大学 教授	
〃	吉村 忍	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	渡辺 恵子	〃	〃	〃	〃	日立Astemo(株) 部長	
〃	浅野 浩二	〃	庶務理事	〃	〃	(株)総合車両製作所 取締役 技術本部長	
〃	犬丸 淳	2021. 04. 22	〃	〃	〃	(一財)電力中央研究所 専務理事	
〃	岸本 哲	2022. 04. 21	〃	〃	〃	(国研)物質・材料研究機構 運営室長	
〃	中部 主敬	〃	〃	〃	〃	京都大学 教授	
〃	中垣 亮	2021. 04. 22	財務理事	〃	〃	(株)日立製作所 センタ長	
〃	中川 泰忠	2022. 04. 21	〃	〃	〃	(株)東芝 エキスパート	
〃	森岡 典子	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 執行役員	
〃	小原 拓	〃	編修理事	〃	〃	東北大学 教授	
〃	鞍谷 文保	2021. 04. 22	〃	〃	〃	福井大学 教授	
〃	宮崎 康行	2022. 04. 21	〃	〃	〃	(国研)宇宙航空研究開発機構 教授	
〃	足立 幸志	〃	企画理事	〃	〃	東北大学 教授	
〃	辻 英樹	〃	〃	〃	〃	(株)小松製作所 室長	
〃	松本 健郎	〃	〃	〃	〃	名古屋大学 教授	
〃	光行 恵司	2021. 04. 22	〃	〃	〃	(株)デンソー 支社長	
〃	倉爪 亮	〃	広報情報理事	〃	〃	九州大学 教授	
〃	島津 ひろみ	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任研究員	
〃	平松 繁喜	2022. 04. 21	〃	〃	〃	マツダ(株) 首席研究員	
〃	村井 祐一	〃	〃	〃	〃	北海道大学 教授	
〃	風尾 幸彦	〃	常勤理事	あり	常勤	(一社)日本機械学会 常勤理事	
監事	井原 郁夫	〃	監事	なし	非常勤	長岡技術科学大学 副学長・教授	
〃	飴 雅英	2021. 04. 22	〃	〃	〃	川崎重工(株) 室長(理事)	
代表会員	青柳 誠司	2022. 04. 21	重要事項評議	〃	〃	関西大学 教授	
〃	明石 剛二	〃	〃	〃	〃	有明工業高等専門学校 教授	
〃	赤松 重則	〃	〃	〃	〃	高知工業高等専門学校 教授	
〃	浅野 浩二	〃	〃	〃	〃	(株)総合車両製作所 取締役 技術本部長	
〃	芦田 極	〃	〃	〃	〃	(国研)産業技術総合研究所 研究部門長	
〃	足立 幸志	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	安達 泰治	〃	〃	〃	〃	京都大学 教授	
〃	阿部 一彦	〃	〃	〃	〃	(一財)日本航空機開発協会 主査	
〃	阿部 雅二郎	〃	〃	〃	〃	長岡技術科学大学 教授	
〃	新井 裕之	〃	〃	〃	〃	科学警察研究所 鑑定官	
〃	新井 史人	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	荒木 稚子	〃	〃	〃	〃	埼玉大学 教授	
〃	荒島 裕信	〃	〃	〃	〃	日本製鋼所M&E(株) グループマネージャー	
〃	安藤 知治	〃	〃	〃	〃	オークマ(株) 次長	
〃	飯田 明由	〃	〃	〃	〃	豊橋技術科学大学 教授	
〃	池田 雅弘	〃	〃	〃	〃	広島工業大学 准教授	
〃	石井 英二	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主管研究員	
〃	石田 裕幸	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 主幹プロジェクト統括	
〃	石本 淳	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	磯 良行	〃	〃	〃	〃	(株)IHI グループ長	
〃	一野瀬 亮子	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任研究員	
〃	伊藤 裕昌	〃	〃	〃	〃	MHIパワーエンジニアリング(株) 主幹技師	
〃	伊藤 宏幸	〃	〃	〃	〃	ダイキン工業(株) リサーチ・コーディネーター	
〃	犬丸 淳	〃	〃	〃	〃	(一財)電力中央研究所 専務理事	
〃	井上 康博	〃	〃	〃	〃	京都大学 教授	
〃	猪亦 麻子	〃	〃	〃	〃	東芝エネルギーシステムズ(株)	
〃	射場 大輔	〃	〃	〃	〃	京都工芸繊維大学 教授	
〃	今井 良二	〃	〃	〃	〃	室蘭工業大学 教授	
〃	伊與田 浩志	〃	〃	〃	〃	大阪公立大学 教授	
〃	岩崎 富生	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主管研究員	
〃	岩田 裕司	〃	〃	〃	〃	(株)アイシン 主査	
〃	上田 英明	〃	〃	〃	〃	ヤンマーホールディングス(株) 主幹	
〃	上田 浩矢	〃	〃	〃	〃	本田技研工業(株) チーフエンジニア	
〃	上辻 靖智	〃	〃	〃	〃	大阪工業大学 教授	
〃	上野 哲	〃	〃	〃	〃	立命館大学 教授	
〃	上原 義貴	〃	〃	〃	〃	日産自動車(株) 主管研究員	
〃	植松 美彦	〃	〃	〃	〃	岐阜大学 教授	

役名	氏名	就任年月日	理事別	手当	常勤・非常勤	現職	備考
代表会員	内田 浩二	2022. 04. 21	重要事項評議	なし	非常勤	三菱重工業(株) 主席	
〃	内一 哲哉	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	梅田 靖	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	瓜生 耕一郎	〃	〃	〃	〃	(株)カシフジ 次長	
〃	漆山 雄太	〃	〃	〃	〃	(株)本田技術研究所 エキスパートエンジニア	
〃	江上 泰広	〃	〃	〃	〃	愛知工業大学 教授	
〃	大久保 康志	〃	〃	〃	〃	九州電力(株) 執行役員 所長	
〃	大島 浩	〃	〃	〃	〃	東海交通機械(株) 部長	
〃	大津 雅亮	〃	〃	〃	〃	福井大学 教授	
〃	大西 献	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 技監・主幹技師	
〃	大西 直文	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	大野 修司	〃	〃	〃	〃	(国研) 日本原子力研究開発機構 部長	
〃	大野 正夫	〃	〃	〃	〃	(株)小松製作所 主幹技師	
〃	岡田 潤	〃	〃	〃	〃	日立造船(株) グループ長	
〃	岡田 徹	〃	〃	〃	〃	(株)神戸製鋼所 上席研究員	
〃	岡田 伸廣	〃	〃	〃	〃	北九州市立大学 教授	
〃	尾方 成信	〃	〃	〃	〃	大阪大学 教授	
〃	岡村 一男	〃	〃	〃	〃	日本製鉄(株) 顧問	
〃	岡本 秀伸	〃	〃	〃	〃	(株)荏原製作所	
〃	小川 和洋	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	小河源 加久治	〃	〃	〃	〃	山口大学 教授	
〃	小木 哲朗	〃	〃	〃	〃	慶應義塾大学 教授	
〃	萩原 慎二	〃	〃	〃	〃	東京理科大学 教授	
〃	小野 崇人	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	小野 勇一	〃	〃	〃	〃	鳥取大学 教授	
〃	小原 拓	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	小山田 具永	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任研究員	
〃	海保 真行	〃	〃	〃	〃	(株)日立ハイテク 主管技師長	
〃	笠井 一成	〃	〃	〃	〃	ダイキン工業(株) 部長	
〃	櫻山 武士	〃	〃	〃	〃	スズキ(株) 専門職	
〃	加藤 千幸	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	金子 暁子	〃	〃	〃	〃	筑波大学 准教授	
〃	鎌田 実	〃	〃	〃	〃	(一財) 日本自動車研究所 代表理事 研究所長	
〃	上谷 俊平	〃	〃	〃	〃	鹿児島大学 教授	
〃	上前 肇	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株) CPE	
〃	河合 理文	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 技師長	
〃	神田 岳文	〃	〃	〃	〃	岡山大学 教授	
〃	菊田 久雄	〃	〃	〃	〃	大阪公立大学 教授	
〃	岸本 哲	〃	〃	〃	〃	(国研) 物質・材料研究機構 運営室長	
〃	北川 浩史	〃	〃	〃	〃	北海道科学大学 准教授	
〃	鬼頭 俊介	〃	〃	〃	〃	豊田工業高等専門学校 教授	
〃	櫛谷 陽一	〃	〃	〃	〃	(株)IHI物流産業システム 主査	
〃	鞍谷 文保	〃	〃	〃	〃	福井大学 教授	
〃	倉爪 亮	〃	〃	〃	〃	九州大学 教授	
〃	樽沼 透	〃	〃	〃	〃	日立建機(株) 技師長	
〃	桑木 賢也	〃	〃	〃	〃	岡山理科大学 教授	
〃	桑原 不二朗	〃	〃	〃	〃	静岡大学 教授	
〃	小池 裕二	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 技師長	
〃	小磯 慶高	〃	〃	〃	〃	クボタ機械設計(株) 代表取締役社長	
〃	幸田 栄一	〃	〃	〃	〃	(一財) 電力中央研究所 副研究参事	
〃	児玉 勇司	〃	〃	〃	〃	横浜ゴム(株) 研究室長	
〃	小林 祐子	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 シニアエキスパート	
〃	小村 昭義	〃	〃	〃	〃	(株)日立パワーソリューションズ CTO	
〃	小矢畑 亘	〃	〃	〃	〃	日本製鉄(株) 製鉄・コークス地区整備課長	
〃	是永 敦	〃	〃	〃	〃	(国研) 産業技術総合研究所 研究グループ長	
〃	齊藤 修	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 本部長補佐	
〃	才本 明秀	〃	〃	〃	〃	長崎大学 教授	
〃	酒井 英樹	〃	〃	〃	〃	近畿大学 准教授	
〃	阪上 隆英	〃	〃	〃	〃	神戸大学 教授	
〃	榊 和彦	〃	〃	〃	〃	信州大学 教授	
〃	坂本 二郎	〃	〃	〃	〃	金沢大学 教授	
〃	桜本 逸男	〃	〃	〃	〃	徳山工業高等専門学校 教授	
〃	佐々木 克彦	〃	〃	〃	〃	北海道大学 教授	
〃	佐々木 大輔	〃	〃	〃	〃	金沢工業大学 教授	
〃	佐藤 勲	〃	〃	〃	〃	東京工業大学 教授	
〃	佐藤 岳彦	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	塩野谷 明	〃	〃	〃	〃	長岡技術科学大学 教授	
〃	鹿園 直毅	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	

役名	氏名	就任年月日	理事別	手当	常勤・非常勤	現職	備考
代表会員	重藤 博司	2022.04.21	重要事項評議	なし	非常勤	TOTO(株) 上席技師	
〃	柴田 諭	〃	〃	〃	〃	愛媛大学 教授	
〃	島津 ひろみ	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任研究員	
〃	下島 康嗣	〃	〃	〃	〃	(国研) 産業技術総合研究所 主任研究員	
〃	下田 孝幸	〃	〃	〃	〃	(国研) 宇宙航空研究開発機構 主任研究開発員	
〃	正司 章	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株)	
〃	白井 直樹	〃	〃	〃	〃	北海道ガス(株) マネージャー	
〃	白瀬 敬一	〃	〃	〃	〃	神戸大学 教授	
〃	須賀 一彦	〃	〃	〃	〃	大阪公立大学 教授	
〃	杉村 丈一	〃	〃	〃	〃	九州大学 教授	
〃	鈴木 隆之	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主管技師	
〃	鈴木 真由美	〃	〃	〃	〃	富山県立大学 教授	
〃	鈴木 雄二	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	須田 義大	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	瀬尾 和哉	〃	〃	〃	〃	工学院大学 教授	
〃	瀬田 剛	〃	〃	〃	〃	富山大学 教授	
〃	芹沢 良洋	〃	〃	〃	〃	日本製鉄(株) 上席主幹研究員	
〃	相馬 仁	〃	〃	〃	〃	名城大学 教授	
〃	高木 周	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	高梨 正祐	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 主任研究員	
〃	高野 靖	〃	〃	〃	〃	京都大学 教授	
〃	高橋 周平	〃	〃	〃	〃	岐阜大学 教授	
〃	高橋 英樹	〃	〃	〃	〃	いすゞ自動車(株) 執行担当	
〃	高橋 洋一	〃	〃	〃	〃	香川高等専門学校 准教授	
〃	高谷 裕浩	〃	〃	〃	〃	大阪大学 教授	
〃	寶山 登	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 主席技師	
〃	竹内 彰敏	〃	〃	〃	〃	高知工科大学 教授	
〃	武田 浩佳	〃	〃	〃	〃	東北発電工業(株) 副部長	
〃	田中 秀治	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	田中 太	〃	〃	〃	〃	福井大学 教授	
〃	田中 真美	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	店橋 護	〃	〃	〃	〃	東京工業大学 教授	
〃	谷 弘詞	〃	〃	〃	〃	関西大学 教授	
〃	谷川 民生	〃	〃	〃	〃	(国研) 産業技術総合研究所 研究センター長	
〃	田上 公俊	〃	〃	〃	〃	大分大学 教授	
〃	玉川 雅章	〃	〃	〃	〃	九州工業大学 教授	
〃	玉野 真司	〃	〃	〃	〃	名古屋工業大学 教授	
〃	樽谷 一郎	〃	〃	〃	〃	(株)豊田中央研究所	
〃	千木良 宣嗣	〃	〃	〃	〃	東レ(株) 主席部員	
〃	中馬 康晴	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 主幹	
〃	塚田 竹美	〃	〃	〃	〃	本田技研工業(株) アシスタントチーフエンジニア	
〃	辻 英樹	〃	〃	〃	〃	(株)小松製作所 室長	
〃	寺井 元昭	〃	〃	〃	〃	東海旅客鉄道(株) 本部長	
〃	寺本 拓矢	〃	〃	〃	〃	三菱電機(株) 専任	
〃	傳田 知広	〃	〃	〃	〃	JFEエンジニアリング(株) 主任研究員	
〃	富澤 泰	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 研究主幹	
〃	仲 美雄	〃	〃	〃	〃	(株)デンソー 執行幹部	
〃	中尾 政之	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	永岡 真	〃	〃	〃	〃	大阪産業大学 教授	
〃	中垣 亮	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 センタ長	
〃	中川 泰忠	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 エキスパート	
〃	中田 俊彦	〃	〃	〃	〃	東北大学 教授	
〃	中野 公彦	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	中部 主敬	〃	〃	〃	〃	京都大学 教授	
〃	成瀬 友博	〃	〃	〃	〃	(株)日立インダストリアルプロダクツ 主管技師	
〃	南部 俊和	〃	〃	〃	〃	日産自動車(株) エキスパートリーダー	
〃	西 義久	〃	〃	〃	〃	(一財) 電力中央研究所 研究参事	
〃	西岡 卓宏	〃	〃	〃	〃	(株)日立インダストリアルプロダクツ 主管技師	
〃	西野 秀郎	〃	〃	〃	〃	徳島大学 教授	
〃	西原 淳夫	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主管研究員	
〃	西村 征吾	〃	〃	〃	〃	(株)プロテリアル 技師	
〃	新田 勇	〃	〃	〃	〃	新潟大学 教授	
〃	野口 直昭	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 部長	
〃	長谷川 泰久	〃	〃	〃	〃	名古屋大学 教授	
〃	馬場 直樹	〃	〃	〃	〃	(株)豊田中央研究所 研究領域リーダー	
〃	浜松 弘	〃	〃	〃	〃	北九州工業高等専門学校 教授	
〃	早坂 靖	〃	〃	〃	〃	(株)日立インダストリアルプロダクツ 主管技師	
〃	早勢 剛	〃	〃	〃	〃	日本貨物鉄道(株)	

役名	氏名	就任年月日	理事別	手当	常勤・非常勤	現職	備考
代表会員	早房 敬祐	2022. 04. 21	重要事項評議	なし	非常勤	芝浦工業大学 准教授	
〃	原田 泰典	〃	〃	〃	〃	兵庫県立大学 教授	
〃	春木 直人	〃	〃	〃	〃	岡山県立大学 教授	
〃	久恒 眞一	〃	〃	〃	〃	松本エンジニアリング(株) 最高技術顧問	
〃	久野 勝美	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 技監, シニアフェロー	
〃	平田 宏一	〃	〃	〃	〃	(国研) 海上技術安全研究所 系長	
〃	平野 明彦	〃	〃	〃	〃	日立GEニュークリア・エナジー(株) 主管技師	
〃	平松 繁喜	〃	〃	〃	〃	マツダ(株) 首席研究員	
〃	藤江 裕道	〃	〃	〃	〃	東京都立大学 教授	
〃	藤田 裕之	〃	〃	〃	〃	東北電力(株) 部長	
〃	古川 克子	〃	〃	〃	〃	東京大学 准教授	
〃	古川 雅人	〃	〃	〃	〃	九州大学 教授	
〃	古谷 了	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任技師	
〃	堀川 英知	〃	〃	〃	〃	ダイハツ工業(株) 主査	
〃	前田 和宏	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株) PP	
〃	真柄 洋平	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所	
〃	正宗 賢	〃	〃	〃	〃	東京女子医科大学 教授	
〃	町垣 孝重	〃	〃	〃	〃	日本製鉄(株) 室長	
〃	松尾 亜紀子	〃	〃	〃	〃	慶應義塾大学 教授	
〃	松岡 茂樹	〃	〃	〃	〃	元 (株)総合車両製作所	
〃	松田 裕昭	〃	〃	〃	〃	(株)豊田自動織機 経営役員	
〃	松原 幸治	〃	〃	〃	〃	新潟大学 教授	
〃	松本 章吾	〃	〃	〃	〃	(株)リコー ExecutiveExpert	
〃	松本 健郎	〃	〃	〃	〃	名古屋大学 教授	
〃	松本 敏郎	〃	〃	〃	〃	名古屋大学 教授	
〃	見角 裕子	〃	〃	〃	〃	YKK(株) シニアエンジニア	
〃	三上 真人	〃	〃	〃	〃	山口大学 教授	
〃	三田尾 眞司	〃	〃	〃	〃	(株)豊田中央研究所 主監	
〃	光岡 大輔	〃	〃	〃	〃	(株)島津製作所 グループ長(課長)	
〃	光行 恵司	〃	〃	〃	〃	(株)デンソー 支社長	
〃	三宅 亮	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	宮崎 恵子	〃	〃	〃	〃	(国研) 海上技術安全研究所 副センター長	
〃	宮崎 康次	〃	〃	〃	〃	九州工業大学 教授	
〃	宮崎 康行	〃	〃	〃	〃	(国研) 宇宙航空研究開発機構 教授	
〃	宮本 博之	〃	〃	〃	〃	同志社大学 教授	
〃	三好 扶	〃	〃	〃	〃	岩手大学 教授	
〃	村井 祐一	〃	〃	〃	〃	北海道大学 教授	
〃	村上 弘記	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 技監	
〃	村澤 剛	〃	〃	〃	〃	山形大学 准教授	
〃	村野 健一	〃	〃	〃	〃	JFEエンジニアリング(株) 経営スタッフ	
〃	本白水 博文	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任研究員	
〃	森岡 典子	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 執行役員	
〃	森田 聡	〃	〃	〃	〃	関西電力(株) シニア・リサーチャー	
〃	森田 慎一	〃	〃	〃	〃	北見工業大学 教授	
〃	森田 康之	〃	〃	〃	〃	熊本大学 教授	
〃	森西 洋平	〃	〃	〃	〃	名古屋工業大学 教授	
〃	森松 隆史	〃	〃	〃	〃	三浦工業(株) 執行役員	
〃	矢野 賢一	〃	〃	〃	〃	三重大学 教授	
〃	山川 弘	〃	〃	〃	〃	三浦工業(株) 室長	
〃	山口 和幸	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主管研究員	
〃	山崎 美稀	〃	〃	〃	〃	(株)日立ハイテク 主任技師	
〃	山下 健一	〃	〃	〃	〃	(株)いすゞ中央研究所 部長	
〃	山田 貴博	〃	〃	〃	〃	横浜国立大学 教授	
〃	山本 健次郎	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 主任研究員	
〃	山本 秀二	〃	〃	〃	〃	(株)タダノ 室長	
〃	横井 一仁	〃	〃	〃	〃	(国研) 産業技術総合研究所 部長	
〃	横川 隆一	〃	〃	〃	〃	同志社大学 教授	
〃	吉川 暢宏	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	吉村 忍	〃	〃	〃	〃	東京大学 教授	
〃	若林 努	〃	〃	〃	〃	大阪ガス(株) 主任研究員	
〃	和田 紀彦	〃	〃	〃	〃	パナソニック(株) 部長	
〃	渡邊 明	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 主席技師	
〃	渡辺 恵子	〃	〃	〃	〃	日立Astemo(株) 部長	

[理事 24 名(内代表理事 2 名), 監事 2 名, 代表会員 236 名]

1. 1. 2 代表会員・監事・継続理事の選挙結果

2023年度(第101期)代表会員・監事の選挙は2022年11月17日(木)で投票を締め切り、11月18日(金)に開票を行ない、集計を行った。投票数その他の結果は下記(a)～(c)のとおりである。

(a) 有効票数

地区別	期別	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
0区A(学界・官界等)		18,911	18,839	18,836	19,250	18,223
0区B(産業界等)		37,616	36,621	38,615	38,322	37,517
1区(東北)		2,387	2,431	2,233	2,266	2,123
2区(北海道)		840	872	784	714	588
3区(東海)		15,120	14,605	13,547	12,535	11,352
4区(関西)		17,732	18,538	17,670	18,352	17,453
5区(中国)		2,508	2,256	2,340	2,220	2,148
6区(四国)		840	848	749	808	840
7区(北陸信越)		2,268	2,340	2,639	2,856	2,508
8区(九州)		4,080	4,395	3,870	4,365	4,845
部 門		65,621	65,728	67,575	66,258	62,383
監 事		7,832	8,050	7,844	7,820	4,954
継 続 理 事		46,826	38,677	55,043	34,153	52,730
計		222,581	214,200	231,745	209,919	217,664

(2016年度(第94期)選挙より電子投票を開始)

(b), (c) は次ページに掲載

1・2 職員に関する事項

職 名	氏 名	職員採用・赴任年月日	担当事務
事務局長 兼 事業企画グループ課長	野口 明 生	1987. 4. 1	事業企画
	川崎 さおり	1993. 4. 1	事業企画
事務局次長 兼 総合企画グループ課長	曾根原 雅 代	1993. 4. 1	総 務
	熊谷 理 香	1993. 5. 1	総合企画
総務グループ課長	田中 克 克	2001. 9. 1	総 務
財務グループ課長	高橋 綾	2008. 4. 1	財 務
出版・販売グループ課長	石澤 章 弘	2008. 10. 1	広報情報
	小倉 辰 徳	2009. 4. 1	出版・販売
広報情報グループ課長	渡邊 賢 太	2009. 4. 1	総 務
	大黒 卓	2009. 10. 1	広報情報
総務グループ課長補佐	秋山 宗一郎	2010. 5. 1	事業企画
	大通 千 晴	2010. 8. 1	財 務
	大竹 英 雄	2010. 12. 1	総 務
	橋口 公 美	2014. 2. 1	総合企画
	金子 あんず	2016. 11. 1	事業企画
	上野 晃 太	2017. 10. 1	広報情報
	大橋 江利奈	2018. 5. 1	財 務
	佐藤 彩 乃	2018. 6. 1	総合企画
	近藤 愛 美	2018. 12. 1	総 務
	篠原 智 也	2019. 5. 1	出版・販売
(嘱託)	森本 あかね	2019. 10. 1	総合企画
	堀口 真 帆	2023. 2. 1	総合企画
	中嶋 勇 輝	2023. 2. 1	財 務
	高橋 正 彦	1992. 4. 1	会務全般
(出向)	渡邊 茂 行	2017. 7. 1	発電用設備規格
(出向)	岡 圭 吾	2021. 12. 1	発電用設備規格
(出向)	中 村 泰 造	2023. 1. 1	発電用設備規格

(b) 投票率

地区別	有権者(正員) A			有効数			無効数			投票総数 B			投票率 B/A			当選者最低得票数									
	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年					
全 国	29,250	29,230	28,913	26,245	26,619																				
監 事	29,250	29,230	28,913	26,245	26,619	3,916	4,025	3,922	3,910	2,477	4,845	4,921	4,761	4,860	4,593	16.6%	16.8%	16.5%	18.5%	17.3%	3,412	3,048	2,767	2,474	1,745
0 区 A (学界・官界等)	12,488	12,558	12,470	11,575	11,776	1,320	1,342	1,339	1,341	1,237	1,761	1,804	1,759	1,832	1,761	14.1%	14.4%	14.1%	15.8%	15.0%	429	416	397	388	422
0 区 B (産業界等)																					606	591	557	510	545
1 区(東 北)	1,337	1,328	1,278	1,136	1,168	217	221	203	206	193	277	280	266	278	252	20.7%	21.1%	20.8%	24.5%	21.6%	174	164	168	158	149
2 区(北 海 道)	544	566	574	499	526	105	109	98	102	84	123	133	124	121	105	22.6%	23.5%	21.6%	24.2%	20.0%	75	76	84	77	61
3 区(東 海)	4,054	3,993	3,868	3,412	3,369	630	635	589	545	516	848	840	783	733	671	20.9%	21.0%	20.2%	21.5%	19.9%	524	466	480	418	395
4 区(関 西)	5,149	5,111	5,088	4,589	4,647	572	598	570	592	563	762	830	788	818	767	14.8%	16.2%	15.5%	17.8%	16.5%	448	442	461	448	429
5 区(中 国)	1,492	1,500	1,481	1,351	1,358	209	188	195	185	179	252	242	244	237	228	16.9%	16.1%	16.5%	17.5%	16.8%	132	154	120	119	111
6 区(四 国)	728	694	687	622	617	105	106	107	101	105	201	174	152	139	148	27.6%	25.1%	22.1%	22.3%	24.0%	68	79	79	75	79
7 区(北陸信越)	1,467	1,476	1,516	1,297	1,339	189	195	203	238	209	242	245	263	289	277	16.5%	16.6%	17.3%	22.3%	20.7%	145	140	144	170	158
8 区(九 州)	1,991	2,004	1,951	1,764	1,819	272	293	258	291	323	379	373	382	413	384	19.0%	18.6%	19.6%	23.4%	21.1%	199	168	174	196	225
部 門	29,250	29,230	28,913	26,245	26,619	4,624	4,720	4,569	4,734	4,478	4,845	4,921	4,761	4,860	4,593	16.6%	16.8%	16.5%	18.5%	17.3%	388	391	437	454	312
継 続 理 事	29,250	29,230	28,913	26,245	26,619	4,845	4,921	4,761	4,860	4,593	4,845	4,921	4,761	4,860	4,593	16.6%	16.8%	16.5%	18.5%	17.3%	4,424	4,207	4,269	4,231	4,030

(c) 勤務先別の候補者・当選者数(代表会員)

勤務先別	当選者数/候補者数			当選者数/候補者数			当選者数/候補者数			当選者数/候補者数			当選者数/候補者数			当選者数/候補者数									
	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年					
地区別	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年	19年	20年	21年	22年	23年					
0 区 A (学界・官界等)	14	42	42	11	42	11	49	13	35							65	110	66	125	67	138	68	105		
0 区 B (産業界等)																									
1 区(東 北)	9	12	9	12	9	13	9	12	9	12	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 区(北 海 道)	5	6	5	6	4	5	4	5	4	5	3	4	3	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3 区(東 海)	9	15	12	16	12	16	14	18	14	18	14	10	11	8	9	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
4 区(関 西)	15	19	15	20	17	20	14	19	16	19	16	18	14	18	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5 区(中 国)	8	11	7	13	8	13	8	14	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6 区(四 国)	7	8	7	9	6	7	5	7	6	8	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7 区(北陸信越)	10	10	10	13	10	12	10	12	10	12	2	5	2	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
8 区(九 州)	10	18	9	19	10	17	11	16	12	16	5	6	6	5	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
部 門	28	53	30	55	28	55	27	58	32	60	23	28	19	24	19	23	20	25	20	26	3	8	5	7	8
計	115	194	118	204	114	200	114	209	122	199	115	143	110	135	109	146	109	148	108	135	10	18	12	17	19
																13	240	355	240	361	240	380	240	347	

1・3 役員会等に関する事項

理事会・所管理理事会開催一覧

月別	理事会			所管理理事会									
	回数	出席者	議案	庶務理事会		財務理事会		編修理事会		企画理事会		広報情報理事会	
				回数	出席者	回数	出席者	回数	出席者	回数	出席者	回数	出席者
2022.3	1	23(2)	9	1	5	1	8(2)	1	5	1	6	1	5
4	2	22(2)/23(2)	1/2	1	5	1	6(2)	1	5	1	6	1	5
5	1	23(2)	2	1	5	1	5(1)	1	5	1	6	1	5
6	1	0	0	1	5	1	6(2)	1	5	1	7	1	5
7	1	23(2)	4	1	5	1	6(2)	1	6	1	6	1	5
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	1	24(1)	5	1	5	1	5(1)	1	6	1	7	1	5
11	0	0	0	1	5	1	5(1)	1	5	1	7	1	3
12	1	21(2)	7	1	5	1	5(2)	1	5	1	6	1	4
2023.1	0	0	0	1	5	1	6(2)	1	5	1	6	1	4
2	1	23(2)	10	1	5	1	6(2)	1	5	1	7	1	4

* ()内は理事・監事出席者総数のうち監事出席者

1・3・1 理事会

1・3・2 代表委員会

1・3・3 定時社員総会

表一覧に拠る。

開催日	会議事項	会議の結果	会場	出席者
2022. 4. 21	1. 2021年度（第99期）事業報告 2. 2021年度（第99期）会計報告 3. 名誉員推薦 4. 2022年度（第100期）事業計画 5. 2022年度（第100期）事業予算 6. 会計監査人交代の件 7. 2022年度（第100期）理事・監事選出	いずれも原案 どおり可決	明治記念館 富士の間	97名 委任状提出者 121名

1・4 許可・認可・承認に関する事項

年月日	申請事項	許可等年月日	備考
2022. 5. 6	理事変更登記	2022. 5. 6	

1・5 契約に関する事項

年月日	相手方	契約の概要	()内単位： 円<税込>
2022.11.8	(株)野村総合研究所 (経済産業省再委託)	令和4年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費 (省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野)) (環境配慮型の水潤滑用軸受材料に関する国際標準化)に関する業務委託契約	(2,329,842)
2022.12.21	日本技術者教育認定機構	2022年度技術者教育プログラム認定審査業務	(9,427,000)

1・6 補助金・助成金等に関する事項

補助金等の名称	交付者	金額	備考
機械工学振興事業資金寄付金	個人会員 415名	1,561,000円	機械工学振興事業
フェロー寄付金	個人会員 336名	3,436,020円	法人会計
富山市コンベンション開催事業補助金	富山市	3,040,000円	年次大会
令和4年度富山県学会等開催事業費補助金	富山県	1,520,000円	年次大会
令和4年度石川県コンベンション誘致推進事業補助金	石川県	233,000円	22-13講演会
福島県コンベンション・エキスカージョン補助金	福島県	560,000円	22-202国際会議
講演会補助金	(公財)高松コンベンションビューロー	83,000円	22-14講演会
講習会補助金	(株)フォーアシスト	100,000円	22-85講習会
講演会開催助成金	金沢市	150,000円	22-13講演会
日本機械学会島山賞助成金	(公財)荏原島山記念文化財団	2,000,000円	島山賞
ハイブリッドコンベンション助成金	(公財)札幌国際プラザ	1,000,000円	22-201国際会議
研究成果普及助成金	(公財)スズキ財団	400,000円	22-201国際会議
ハイブリッド国際会議実証事業助成金	(株)日本旅行	995,000円	22-201国際会議
高度生産システムに係る国際会議助成金	(公財)マザック財団	300,000円	22-203国際会議
令和4年度国内会議開催助成金	(公財)名古屋観光コンベンションビューロー	200,000円	22-203国際会議
学会等開催助成金	(公財)大幸財団	200,000円	22-203国際会議
国際会議開催助成金	(公財)中部電気利用基礎研究振興財団	200,000円	22-203国際会議
2021年度国際会議開催助成金	(公財)立石科学技術新興財団	1,000,000円	22-203国際会議
講演会開催助成金	華為技術日本(株)	3,000,000円	22-204国際会議
国際会議開催助成金	(公財)天田財団	1,500,000円	22-204国際会議
講演会開催助成金	(株)セミコンダクタポータル	794,725円	22-42講演会
令和4年度大規模MICE開催費助成金	(公社)青森県観光国際交流機構	1,000,000円	22-49講演会
MICEハイブリッド開催支援・安全対策支援助成金	(公財)福岡観光コンベンションビューロー	700,000円	22-4講演会
講演会開催助成金	(公財)三五ものづくり基金	200,000円	22-4講演会
研究成果普及助成金	(公財)スズキ財団	400,000円	22-60講演会
講演会開催助成金	神奈川大学	50,000円	22-75講演会
国際学術研究助成金	(一財)青葉工学振興会	30,000円	22-7講演会

1・7 内閣府指示に関する事項

指 定 年 月 日	指示事項	履行状況
	公益目的支出計画等変更届出	2022年 5月 25日
	公益目的支出計画実施報告書等提出	2022年 5月 26日

1・8 理事会処理事項

項 目	概 要
1. 部門, 委員会, 分科会, 研究会の設置, 解散	設置分科会: 部門協議会関係3, 研究協力事業関係2 設置研究会: 部門協議会関係4 解散分科会: 部門協議会関係5, 出版センター関係1, 研究協力事業関係6 解散研究会: 部門協議会関係8
2. 名誉員候補者選考会議	2022年10月11日
3. 集會事業	2022年度年次大会(2022.9.11~14), 機械の日, 機械週間の活動 「メカライフの世界」展(大学祭・高専祭などのタイアップ行事) 24件
4. 助 成	機械工学振興事業資金助成 17件
5. 表 彰	2022年度日本機械学会賞[技術功績3件, 論文16件, 技術5件] " 日本機械学会奨励賞[研究20件, 技術18件] " 日本機械学会教育賞[4件] 2022年度日本機械学会優秀製品賞[1件] 2022年度日本機械学会女性未来賞[5件] 2022年度日本機械学会島山賞[341名] " 日本機械学会三浦賞[219件] 2022年度日本機械学会標準事業表彰[貢献賞2件, 国際功績賞2件, コードエンジニア賞1件] 2022年度日本機械学若手優秀講演フェロー賞[123件] " 学生員増強功労表彰[41件] " 機械遺産認定[9件] 他機関各賞の受賞候補者推薦
6. 認証・認定	2022年度機械状態監視資格認証試験合格306名 " 計算力学技術者資格認定試験合格849名
7. 会 員	永年会員 184名(2022年度末永年会員数4,223名) フェロー 55名(2022年度末フェロー会員数1,106名)
8. 編修・出版	学会誌の発行, 学術誌の発行, 出版物の発行
9. 役員選挙	代表会員・監事選挙及び筆頭副会長候補者選挙時の選挙管理委員委嘱

項目	概要
10. 対 外	<p>1 日本学術会議との関係 本会が関係する委員会・分科会等への委員推薦, 行事への協賛対応などを行っている。 2016年度に発足した「防災学術連携体」に代表者を派遣し, 参加している。 2022年5月9日開催の第13回防災学術連携シンポジウムに協力した。 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」に応募した。</p> <p>2 機械系関連学協会会長懇談会 2020年度/2021年度は新型コロナウイルス感染症対策により開催が延期されたが, 2022年度は2023年2月1日に開催され, 会長が出席した。</p> <p>3 日本学士院会員候補者の推薦 第2部(自然科学部門)第5分科(工学)の欠員発生により, 本会から, 1名推薦した。</p> <p>4 日本工学会 第1回会長懇談会(2022年6月8日開催)に筆頭副会長が出席した。 第2回会長懇談会(2022年11月11日開催)に副会長が出席した。 2022年12月8日開催の「技術倫理協議会」第18回公開シンポジウムに幹事学会として協力した。 令和5年度フェローとして1名推薦した。</p> <p>5 日本技術者教育認定機構(JABEE) 本会からは, 役員, 主要委員会メンバーとして多くの会員が協力している。また, JABEEより大学等の技術者教育プログラム認定業務を受託しており, その審査員の養成などへの協力を行っている。令和5年度フェローとして3名推薦した。</p> <p>6 電気学会 2004年度より学会共通の問題について首脳陣による情報交換を年に一度行い協力関係を構築している(幹事役を交互で務める)。本年度は2022年10月6日に会長懇談会を行った。</p> <p>7 日本産業技術教育学会 ジュニア向けに同会が行う「エネルギー利用技術作品コンテスト」(今期は第25回)の後援をした。今回も前回に引き続きコロナ禍により同会関連の賞に限定され, 優秀作品へ毎年授与している本会会長賞は見送られている。</p> <p>8 ロボット革命イニシアティブ協議会 経済産業省の呼び掛けにより, 2015年5月に「ロボット革命イニシアティブ協議会」が創立され継続して会長が評議員に就任し, 協力をしている。</p> <p>9 科学技術振興機構(JST) JST研究開発戦略センター(CRDS)からの「2023年版「研究開発の俯瞰報告書」作成協力者推薦依頼について, 一部の部門から代表を推薦し, 協力をした。</p> <p>10 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会(幹事団体:日本原子力学会) オブザーバー参加をしている。</p> <p>11 日本技術士会 2009年より相互連携の覚書を交わしており, 年次大会などで合同企画をしている。 新たな試みとして, 2022年10月15日に本会の人材育成・活躍支援委員会との共同開催行事として, 特別講演会を開催した。 同会機械部会例会において本会へ講演依頼があった。</p> <p>12 日本クレーン協会 2019年より協力・連携に係る覚書を交わし, クレーンなどの機械に関する産業・建設の安全確保, 技術の向上を目的とした相互の協力・連携事業を推進するため, 年次大会での合同企画を行っている。</p> <p>13 電子情報通信学会 2020年7月に相互協力に関する覚書を交わし, 双方の年次大会での合同企画や会誌の特集企画等で連携を続けている。</p> <p>14 情報処理学会 2021年8月に相互協力に関する覚書を交わし, 同会主催の全国大会(2022年3月)にて合同企画を行った。</p> <p>15 日本内燃機関連合会 学術団体会員として加盟し, 同連合会役員の団体理事に会長が就任し, 協力している。</p>
11. 事務局	採用2名, 嘱託員(含む再雇用)2名, 退職2名

2022年度（第100期）理事会・代表委員会議案一覧

2022年度（令和4年度）

開催日	理事会				開催日	代表委員会 議事
	議案	結果	話題	報告・その他		
2022年3月23日	1. 会員入退会及び資格変更の件 2. 2021年度(第99期)事業報告の件 3. 2021年度(第99期)会計報告の件 4. 2022年度(第100期)理事・監事候補者の件 5. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定一部変更の件 6. 標準事業委員会の名称変更に伴う細則、関連諸規定一部変更の件 7. 会議等における公益法人の適正な支出についての指針一部変更の件 8. 会計監査人の交代の件 9. 名誉員制度検討委員会からの答申の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認	1. その他 各理事からの審議案件提案等	1. 報告書「日本機械学会の現状と中長期的課題2021年度(第99期)の取り組み」について 2. 会員向け報告書「2022年度(第100期)の取り組み方針」 3. 今期検討課題について 4. 2021年度(第99期)定時社員総会(2022年4月21日)の進行について 5. 発電規格電子配信閲覧サービスの契約・販売実績と今後の計画について 6. 選挙制度検討委員会からの答申について	2022年3月23日	(報告9件)
2022年4月21日	1. 2022年度(第100期)会長及び副会長(筆頭副会長を含む)選出の件	承認				
2022年4月22日	1. 会員入退会及び資格変更の件 2. 2022年度機械遺産の件	承認 承認	1. その他 各理事からの審議案件提案等	1. 2022年度若手の会運営委員推薦依頼について その他 1. 第100期理事会運営方法について 2. 部長及び担当理事について		
2022年5月10日	1. 会員入退会及び資格変更の件 2. 2023年度(第101期)代表会員定数、選挙実施方針の件 3. 2022年度(第100期)第1回代表委員会開催の件(WEB会議) 4. 2021年度名誉員制度検討委員会答申による「名誉員選考に関する資料」一部変更の件	承認 承認 承認 承認	1. 各理事からの審議案件提案等	1. 2022年度日本機械学会賞、奨励賞、教育賞、優秀製品賞等、募集の件 2. 2022年度支部・部門等フェロー推薦依頼について 3. 2022年度科研費採択状況 4. 2022年度機械工学振興事業資金助成について 5. 今期の検討課題について		
					2022年6月7日	(報告2件)
2022年7月12日	1. 会員入退会及び資格変更の件 2. 2023年度(第101期)監事候補者選出の件 3. 2023年度(第101期)選挙管理委員選出の件 4. 名誉員候補者及び名誉員選考会議(開催・構成)の件	承認 承認 承認 承認	第1部 1. 各理事からの審議案件提案等 第2部 1. 意見交換 1)企業から見た本会の現状と課題・本会に期待すること、2)本会からの情報発信機能(学術誌の発行を含む)の強化、3)社会変革を先取りした新機軸の活動(オープンイノベーションの場の提供、国プロ提案など)	1. 2021年度(第99期)決算内訳の精査について 2. 機械の日・機械週間事業の実施と広報 3. 募金拠出者報告(機械工学振興資金寄付金、フェロー寄付金) 4. 事務局夏期手当支給について		
2022年10月11日	1. 会員入退会及び資格変更の件 2. 2023年度(第101期)代表会員候補者の件 3. 2023年1月からの永年会員該当者の件 4. 2023年度予算編成方針・日程の件 5. 2022年度女性未来賞受賞の件	承認 承認 承認 承認 承認	1. 「機械の日」記念行事の在り方再検討/「機械工学振興事業」の見直しについて 2. 各理事からの審議案件提案等	1. 若手の会活動報告 2. 2022年度(第100期)中間決算・決算見込報告 3. 2022年度「機械の日・機械週間」報告 4. 2022年度年次大会報告 5. 経営企画委員会検討状況報告 6. メカジョ未来フォーラム2022(秋) 7. 7月理事会第2部の討議を経て 8. 会長・支部役員懇談会終了報告 9. 会員の不正行為の調査・審理に関する申出の件		
2022年12月6日	1. 会員入退会及び資格変更の件 2. 2022年度(第100期)定時社員総会次第の件 3. 部門評価委員会 新部門制施行評価及び本実施の件 4. 機械工学振興事業資金およびその助成事業の体制見直しWGの設置の件 5. 若手会員継続施策の件 6. 理事会運営の件(承認・議決の区分け) 7. 日本学術会議「未来の学術振興構想」公募の件	承認 承認 承認 承認 一部修正 承認 承認	1. 分科会・研究会の再定義について 2. 各理事からの審議案件提案等	1. 選挙管理委員会からの報告 2. 今期検討課題について 3. 名誉員候補者推薦について 4. 2022年度年次大会決算報告 5. 事業アドバイザー委員会活動報告 6. メカジョ未来フォーラム2022(秋)開催報告 7. 事務局関連事項(年末手当) その他 1. 特別員退会申出一覧		

2023年2月7日	1. 会員入退会及び資格変更の件	承認	1. 今期理事会の総括と今後の運営に向けた意見交換	1. 出版センター2022年度活動報告
	2. 2023年度(第101期)事業計画案	承認	2. 2022年度(第100期)定時社員総会の件	2. 2021年度選挙制度検討委員会答申検討結果報告
	3. 2023年度(第101期)事業予算案	承認		3. 機械工学振興事業資金助成報告
	4. 日本機械学会賞・優秀製品賞・標準事業表彰の件	承認		4. ジュニア会友制度 運用変更
	5. 日野自動車からの学会賞返納の申し出の件	承認		5. 選挙管理委員会からの報告
	6. 学生員増強功労者表彰の件	承認		6. 支部総会および総会議演会・卒研発表会一覧
	7. 2022年度(第100期)日本機械学会フェロー認定の件	承認		7. 2022年12月決算報告
	8. 第2回代表委員会の開催・議事の件	承認		8. 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」応募
	9. バイオエンジニアリング部門 部門賞名変更の件	承認		その他 1. 第4回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム
	10. 法工学専門会議、医工学テクノロジー推進会議継続申請および新部門制本実施における各組織の位置づけの件	承認		2. 日本学術会議「声明 内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」(令和4年12月6日)について再考を求めます」公表

1・9 会員に関する事項

2022年度（第100期）における入退会・資格変更等

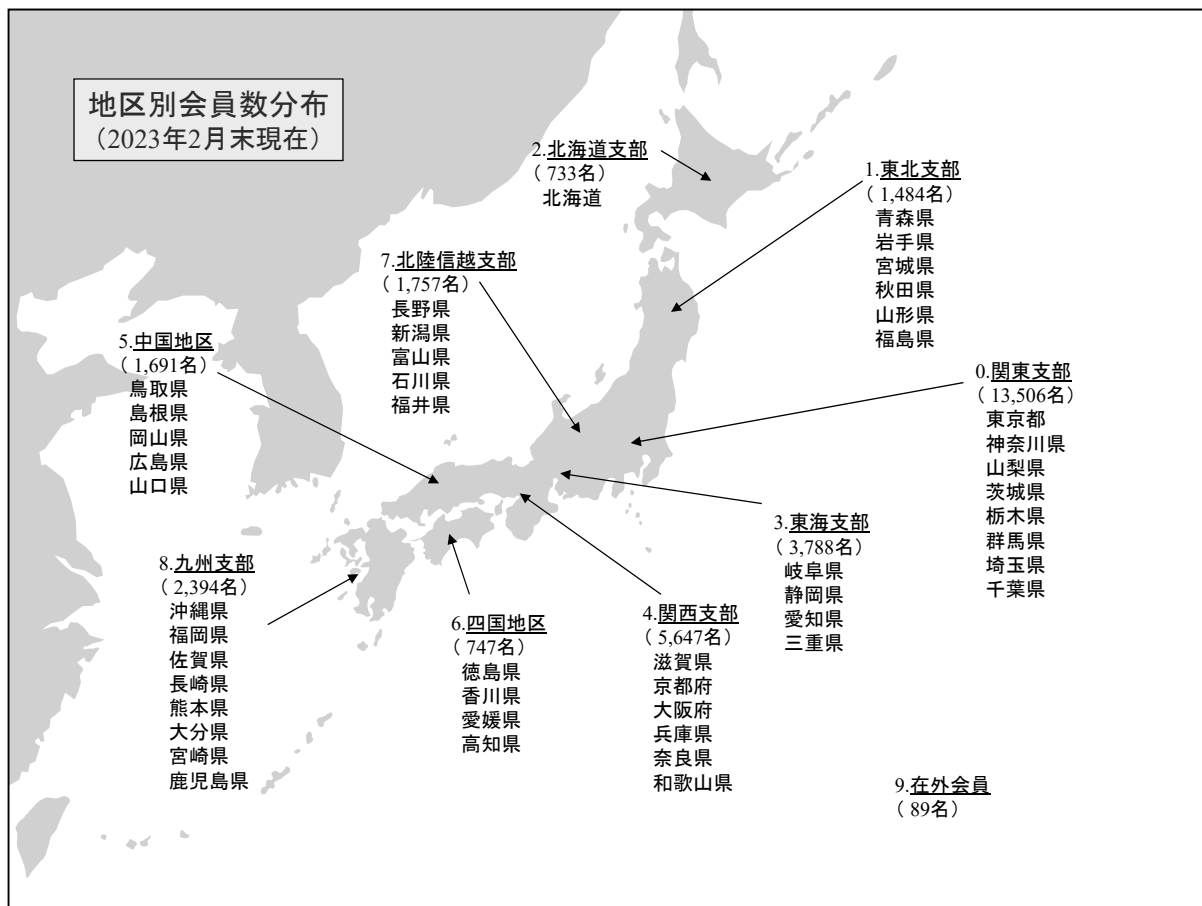
摘 要		正 員	学生員	会友	個人会員 小計	特別員	総合計
入 会		710	4,196	2	4,908	14	4,922
退 会		-2,228	-1,420	0	-3,648	-25	-3,673
復 活		64	25	0	89	0	89
死 亡		-97	-3	0	-100		-100
資格 変更	学生員 → 正員	2,857	-2,857				
	正員 → 学生員	-295	295				
資格喪失(会費滞納)		-1,542	-197	0	-1,739	-2	-1,741
前期末会員数		25,875	5,800	5	31,680	660	32,340
今期末会員数		25,344	5,839	7	31,190	647	31,837
増 減		-531	39	2	-490	-13	-503

参考: 女性会員等の登録数(今期末)

女性会員:1302名 外国籍会員:965名 ジュニア会友:774名
:599名

2022年度（第100期）における月別入退会者数

	入 会					退 会				
	正 員	学生員	会友	特別員	合計	正 員	学生員	会友	特別員	合計
2022年3月	36	207	0	0	243	-159	-549	0	-1	-709
4月	81	319	0	1	401	-77	-69	0	-1	-147
5月	69	168	1	4	242	-55	-6	0	0	-61
6月	125	861	0	0	986	-116	-14	0	0	-130
7月	76	232	1	1	310	-27	-4	0	-1	-32
8月	72	205	0	2	279	-46	-5	0	0	-51
9月	51	183	0	3	237	-43	-6	0	-1	-50
10月	29	96	0	0	125	-32	-9	0	-1	-42
11月	42	446	0	0	488	-162	-67	0	-3	-232
12月	33	994	0	0	1,027	-1,296	-553	0	-17	-1,866
2023年1月	44	273	0	2	319	-152	-57	0	0	-209
2月	52	212	0	1	265	-63	-81	0	0	-144
合計	710	4,196	2	14	4,922	-2,228	-1,420	0	-25	-3,673
月平均入退会	59	350	0	1	410	-186	-118	0	-2	-306



地区別・資格別会員数

	0区(関東)	1区(東北)	2区(北海道)	3区(東海)	4区(関西)	5区(中国)
正員	11,272	1,101	483	3,195	4,397	1,280
学生員	1,887	370	243	517	1,135	386
会友	3	0	0	2	2	0
個人計	13,162	1,471	726	3,714	5,534	1,666
特別員	344	13	7	75	113	25
総合計	13,506	1,484	733	3,789	5,647	1,691

	6区(四国)	7区(北信)	8区(九州)	在外会員		総合計
正員	583	1,228	1,722	83		25,344
学生員	157	494	644	6		5,839
会友	0	0	0	0		7
個人計	740	1,722	2,366	89		31,190
特別員	7	35	28	0		647
総合計	747	1,757	2,394	89		31,837

部門登録者数

部門名	第1位	第2位	第3位	第1-3位合計	第4位	第5位	第1-5位合計
計算力学	1,549	1,547	1,350	4,446	511	334	5,291
バイオエンジニアリング	777	481	471	1,729	302	243	2,274
材料力学	2,059	1,444	727	4,230	310	198	4,738
機械材料・材料加工	1,138	1,359	1,018	3,515	360	280	4,155
流体工学	2,718	1,544	1,056	5,318	404	239	5,961
熱工学	1,780	1,490	1,023	4,293	380	224	4,897
エンジンシステム	885	428	360	1,673	242	127	2,042
動力エネルギーシステム	883	1,165	1,041	3,089	441	272	3,802
環境工学	450	690	967	2,107	454	352	2,913
機械力学・計測制御	1,907	1,585	1,293	4,785	539	348	5,672
機素潤滑設計	862	575	438	1,875	194	146	2,215
設計工学・システム	707	845	1,041	2,593	506	458	3,557
生産加工・工作機械	916	669	526	2,111	288	217	2,616
生産システム	402	566	483	1,451	227	200	1,878
ロボティクス・メカトロニクス	1,763	1,212	1,058	4,033	447	298	4,778
情報・知能・精密機器	525	830	1,043	2,398	473	406	3,277
産業・化学機械と安全	264	271	396	931	214	191	1,336
交通・物流	880	555	625	2,060	261	241	2,562
宇宙工学	337	346	557	1,240	298	342	1,880
技術と社会	226	347	675	1,248	295	517	2,060
マイクロ・ナノ工学	254	264	255	773	207	204	1,184
スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス	181	130	136	447	159	159	765
合計	21,463	18,343	16,539	56,345	7,512	5,996	69,853

会員数(2023年2月末日)

正員 25,344 名

第1位登録者数 21,463 名

第1位登録率 84.7 %

専門・推進会議登録者数

専門・推進会議名	登録者数
法工学専門会議	775
医工学テクノロジー推進会議	862
合計	1,637

1・10 法人運営に関する事項

1・10・1 経営企画委員会

委員長 伊藤 宏幸筆頭副会長, 幹事 風尾 幸彦常勤理事 他8名, 開催5回

経営企画委員会では, 今期は主に下記の4点について検討を行った。

- 1) 本会のあるべき姿
- 2) 年次大会の活性化
- 3) 10年ビジョンの達成状況
- 4) 学会横断テーマ及びWG活動のフォローアップ

1) については, 本会の理想的なポートフォリオを検討する中で, 会費を投入すべき事業や本部・支部の財政のあり方についての議論を行った。2) については, 部門講演会との差異化, 開催支部との協力体制について議論を行った。3) については, 達成状況のレビューを行い, 未達成の課題の扱いについて議論を行った。4) については, 社会的課題に対応する分野横断的な「学会横断テーマ」と, 新たな施策の提案を行う「WG」の活動のフォローアップを行った。それぞれの活動は下記のとおりである。

学会横断テーマ①少子高齢化社会を支える革新技術の提案:
テーマリーダー 佐久間 一郎 他6名, 開催5回

学会横断テーマ②持続可能社会の実現に向けた技術開発と社会実装:
テーマリーダー 近久 武美 他7名, 開催3回

学会横断テーマ③機械・インフラの保守・保全, 信頼性強化:
テーマリーダー 井原 郁夫 他8名, 開催3回

学会横断テーマ④未来を担う技術人材の育成:
テーマリーダー 山本 誠 他12名, 開催3回 (人材育成・活躍支援委員会での対応)

学会横断テーマ⑤循環経済の実現に向けた機械工学の役割:
テーマリーダー 小野田 弘士 他6名, 開催3回

年次大会活性化検討WG: 委員長 綿貫 啓一 他6名, 開催2回

1. 中長期の視点で活性化を図っていくため, 年次大会のあり方について議論した。
2. ハイブリッド開催を含めた大会運営の問題点を共有し, 今後の大会運営方法について意見交換を行った。
3. 年次大会の活性化に向け, 答申を作成した。

情報の事業化検討WG: 委員長 荒井 政大 他5名, 開催3回

1. 既存書籍の電子化, 電子コンテンツ(教材)の配信による収益化について議論した。
2. 今年度発行した電子書籍の販売・購読状況を精査し, 電子化および知の体系化について整理した。
3. 2年間の活動期間中に議論を行った事項に基づき答申を作成し, 経営企画委員会に上申した。

技術者継続教育WG: 委員長 中山 良一 他6名, 開催3回

1. 各分野の機械系技術者像を想定した技術教育体系について, 関係部門からの情報をもとに検討した。
2. 部門や支部主催の講習会について, 基礎編, 応用編のカテゴリー分けと共に年間計画を明示するための仕組みについて検討し, 答申としてまとめた。

1・10・2 会員部会

部会長 浅野 浩二 他24名, 開催3回

1. 学生間の交流及び企業の若手技術者から話を聞く場として, 2010年度より開催している学生交流会は, 本年度は開催を見合わせた。
2. 申請のあった学生員増強功労者表彰41件を理事会へ推薦した。
3. 学生会活動へインセンティブとしての表彰について検討した。
4. 産業界と学会が対話できる仕組みづくりと実践について, 支部や部門ですでに実施している取り組みを確認し, 理事会へ報告した。

学生員委員会: 委員長 土屋 智由 他8名, 開催1回

1. 各支部の活動状況, 活動計画, 学生員増強策等の意見交換

を実施した。

2. 委員長校会を開催し, 各支部学生会委員長より学生会の活動報告や, 就職後も会員継続してもらうための意見交換を実施した。
3. 次期の担当委員を確認し, 委員長を東海支部選出委員, 幹事を東北支部選出委員とした。
4. 各学生会の機関紙を発行した。
5. 「メカライフの世界」展の開催に協力した。

Ladies' Association of JSME: 委員長 西 美奈 他23名, 開催2回

1. LAJ出前授業を2022年11月24日に実践女子学園中学校(参加者約70名)の計1回開催した。
2. 女性エンジニア交流会を, 2022年3月3日中国四国地区(参加者9名), 3月5日北海道(参加者6名), 3月5日北陸信越地区(参加者13名), 3月11日東海地区(参加者9名), 3月16日関東地区(参加者5名), 3月18日九州地区(参加者6名), 3月23日関東地区(参加者8名), の計7回オンラインで開催した。
3. 年次大会にて, ランチミーティングを開催した(参加者12名)。
4. 次年度事業企画について審議した。
5. 支部と合同企画のイベントを, 2022年12月16日に「第11回女性技術者のための懇話会」(関東支部茨城ブロック)(参加者6名), 計1回開催した。
6. 学会誌2022年4月号にメカジョファイルの掲載に協力した。
7. メカジョ未来フォーラム実行委員会からの要請で, 当フォーラムの参加勧誘を行った。

JSME International Union: 委員長: 古川 克子 他16名, 開催2回

1. 2022年9月12日に第8回留学生シンポジウムを富山大学五福キャンパスおよびZoom Meetingsを利用してハイブリッド形式で開催した。2件の基調講演と日本に留学し就職した2名の技術者・研究者らによる事例紹介があった。留学生5名を含む23名が参加した。
2. 2022年11月25日に留学生キャリア座談会をZoom Meetingsを利用して開催した。企業3社が少人数の留学生グループを順に周り, 自社の事業や採用方針について説明した。留学生41名が参加登録した。

1・10・3 表彰部会

表彰部会: 部会長 森下 信 他18名, 開催3回

1. 日本機械学会賞委員会委員を理事会に推薦した。
2. 日本機械学会賞(2022年度)の贈賞候補として日本機械学会賞委員会から推薦のあった日本機械学会賞(技術功績)3件, 同(論文)16件, 同(技術)5件, 日本機械学会奨励賞(研究)20件, 同(技術)18件, 日本機械学会教育賞4件を理事会へ推薦した。
3. 日本機械学会晶山賞(2022年度)受賞者として341名を理事会へ推薦した。
4. 日本機械学会三浦賞(2022年度)受賞者として219名を理事会へ推薦した。
5. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞123件の報告を確認した。
6. 日本機械学会優秀製品賞 第18回(2022年度)の贈賞候補として1件を理事会へ推薦した。
7. 日本機械学会女性未来賞 第6回(2022年度)の贈賞候補として5件を理事会へ推薦した。
8. 標準事業表彰第19回(2022年度)の贈賞候補として, 貢献賞2件, 国際功績賞2件, コードエンジニア賞1件を理事会へ推薦した。
9. 日本機械学会賞(2023年度)募集要項を決定した。
10. 日本機械学会優秀製品賞(2023年度)募集要項を決定した。
11. 日本機械学会女性未来賞(2023年度)募集要項を決定した。
12. 日本機械学会標準事業表彰(2023年度)募集要項を決定した。
13. 文部科学大臣表彰等他機関からの受賞候補推薦について選考を行った。

日本機械学会賞委員会：委員長 梶島 岳夫 他88名、開催2回、グループ会議9回
日本機械学会賞（2022年度）贈賞候補として技術功績3件、論文16件、技術5件、日本機械学会奨励賞（研究20件、技術18件）、日本機械学会教育賞4件を表彰部に推薦した。

日本機械学会優秀製品賞選考委員会（2022年度）：委員長 由井明紀 他2名、開催1回。
日本機械学会優秀製品賞の選定、審査を行い日本機械学会優秀製品賞1件を選考して、表彰部に推薦した。

日本機械学会女性未来賞選考委員会（2022年度）：委員長 深淵康二 他4名、開催1回。
日本機械学会女性未来賞の選定、審査を行い日本機械学会女性未来賞5件を選考して、表彰部に推薦した。

日本機械学会標準事業表彰選考委員会（2022年度）：委員長 白瀬 敬一 他4名、開催1回。
日本機械学会標準事業表彰（2022年度）贈賞候補として貢献賞2件、国際功績賞2件、コードエンジニア賞1件を表彰部に推薦した。

1・10・4 広報・情報部会

部会長 鳥津 ひろみ（広報情報理事） 他29名、開催2回
1. 会誌を編修・出版した（「4. 会誌事業に係る事項」参照）。
2. 機械工学年鑑2022（電子版）をフリーアクセスとして一般公開した。
3. メルマガを月1回配信した。
4. 本会理事によるWebコラム欄「JSME談話室「き・か・い」」一計9件をWebに掲載した（No. 204～212、2022年2月未現在）。
5. 「機械の日・機械週間」や「年次大会」等、広報活動をサポートした。
6. 各種最新情報をWebサイトに掲載し、会員内外に情報発信した。

1・10・5 部門評価委員会

委員長 岩渕 明 他16名、開催5回
1. 2021年度単体の模擬評価を実施し、その評価を部門に通知した。
2. 模擬評価を通して見えてきた重点活動評価プロセスの課題と、定量評価とその基準の妥当性について議論した。
3. 模擬評価に対する部門からの意見をもとに、来年度から始まる新部門制本実施に向けて評価方法を議論した。
4. 新部門制の枠組みの中で、新たな組織に関する課題について議論した。
5. 今後の評価日程と評価結果の反映方法について意見交換を行った。
6. 新部門制本実施に向け2021年度、2022年度の2年間について部門評価を行うこととし、その評価要領を部門に通知した。また、ポリシーステートメントと重点活動報告書の提出を依頼した。
7. 面談を希望する小規模部門と意見交換会の場を設けた。

1・10・6 分野連携委員会

委員長 松本 健郎 他8名、開催3回
1. 過去の分野連携企画について内容を確認し、2023年度の採択基準や申請フォーマット等を検討した。
2. 2023年度の分野連携企画の募集を開始した。
3. 2023年度の申請について採択可否と支援金配分額を決定し、企画者に通知した。

1・10・7 技術倫理委員会

委員長 夏 恒 他15名、開催4回
1. 2022年度年次大会（富山大）の年次大会市民フォーラム「技術の進歩はSDGsを実現するか」を実施した。
2. 2023年度年次大会市民フォーラムの企画を検討した。
3. 委員会内に倫理規定見直しWGを設置し検討を行なった。
4. 技術倫理協議会へ本委員会から代表委員が出席した。

5. 2022年12月8日開催の日本工学会技術倫理協議会第18回公開シンポジウム『国際社会で活動するために必要な技術者倫理』の企画運営に協力した。

1・10・8 フェロー選考委員会

委員長 伊藤 宏幸 他11名、開催2回
フェロー候補者の公募、選定、審査を行い、55名の候補者を理事会に上申した。

1・10・9 若手の会

委員長 元祐 昌廣 他26名、開催5回
1. 2022年度年次大会（富山大）において特別企画「Z世代以降のエネルギーとは？」を開催した。
2. 2023年度年次大会特別企画の検討を行った。
3. 若手会員支援策について企画検討を行った。
4. 第5回若手技術者交流会を2022年9月30日にオンライン開催した。

1・10・10 防災・減災委員会

委員長 藤田 聡 他7名、開催回数1回
1. 防災学術連携体へ連携委員を派遣した。
2. 委員会規程の確認、活動計画の審議などを実施した。
3. 機械設備の耐震に関わる規格の整理、委員会の方向性の審議などを実施した。
4. 2022年3月の福島県沖地震で被害を受けた発電施設を2022年6月2日に訪問し、被害調査を実施した。

1・10・11 事業アドバイザー委員会

委員長 中山 良一 他3名、開催2回
1. 2019年4月設置
2. 事業アドバイザー委員会は年2回の開催とし、第1回目では、各事業委員会の前年度の総括、当該年度の運営方針を諮り、第2回目には、次年度の予算や計画、中長期計画の報告等を受け、各事業委員会の活動・運営のサポートをする。
3. 2022年7月11日に今期第1回をWeb会議にて開催し、各事業委員会報告を受け、活動状況を確認し、意見交換を行った。
4. 2022年8月18日に臨時委員会をWeb会議にて開催し、JABEE事業委員会および発電用設備規格委員会より報告を受け、活動状況を確認し、意見交換を行った。
5. 2022年11月7日に今期第2回をハイブリッド形式にて開催し、各事業委員会の次年度の予算案と活動計画等を確認し、意見交換を行った。
各事業委員会には、将来の事業をどのようにしたいか意志を持った中期計画の作成および共通経費を含めた収支の記載を依頼した。
6. 研究協力事業委員会について運営体制を見直す検討を行った。

1・10・12 人材育成・活躍支援委員会

委員長 山本 誠 他9名、開催3回
1. 本会横断テーマ「未来を担う技術人材の育成」については、この委員会が対応チームとなり検討し、活動報告を兼ねた特集を学会誌12月号に掲載した。
2. ①講習会の見える化・パッケージ化、出前講座、②年次大会での啓発活動、③社会への提言、メッセージ発信、④インターンシップの学会枠設置、⑤子供たちの関心を引くキャリアパスの作成、⑥小中高校生向け企画、⑦技術相談窓口の整備、⑧テスト問題バンクの普及、等について検討した。
3. 経営企画委員会下の「技術者継続教育検討WG」が主体となり、講習会開催一覧を元にパッケージ化について検討した。
4. 中長期のインターンシップ情報について特別員からの応募により、所定HPに掲載し、畠山賞、優秀講演フェロー賞受賞学生員を対象として情報提供を行った。
5. 関東支部シニア会主催にて、ジュニア向け企画「エンジ

ニア塾」を企画・実施した。

- 2022年度年次大会特別企画として、「DX時代に求められる機械技術者像」をテーマとしたワークショップを企画・開催（ハイブリット）した。2023年度年次大会特別企画についても検討を行った。
- 技術相談事業として、支部シニア会の協力のもと、相談者と技術者とのマッチングを行った。
- 委員会主催行事として、日本技術士会と共催し、「ジョブ型社会における働き方～機械系技術者のキャリア形成～」特別講演会を行った。
- 特別員向けに出前講座についてのアンケートを行い、1社より出前講座希望があり、支部シニア会の協力のもと、対応を検討している。

1・10・13 技術ロードマップ委員会

委員長 山崎 美稀 他31名、開催4回

- 部門と連携した学会ロードマップの作成・維持・更新を行うとともに、機械工学全体としてのロードマップの作成を目的とした“将来社会を支える機械学会が作る技術ロードマップ：2050年の社会像を描いて”（2050RM）の検討を行った。
- 機械学会誌とのコラボレーションを検討し、2016年公開した「技術ロードマップから見る2030年の社会」のレビューの連載を企画・議論を行った。
- 年次大会でワークショップ「持続可能な未来の実現のための技術ロードマップ」を開催した。
- 機械工学全体としてのロードマップとして、エネルギー&環境に着目、当該分野の種々の取組みに関するオンラインセミナーを開催、有益な意見をいただいた。

1・10・14 ISO・JIS・学会基準委員会

委員長 山本 浩 他28名、開催3回

- 経済産業省の産業標準化推進事業に係る次年度新規テーマ調査を実施した。
- 経済産業省の産業標準化推進事業に係る実績及び活動計画の調査を実施した。
- 経済産業省再委託事業「省エネルギー等国際標準開発（環境配慮型の水潤滑用軸受材料に関する国際標準化）」について審議し、所轄理事会の承認を得た。
- 令和4年度経済産業省産業標準化事業表彰経済産業大臣表彰（個人）候補者を検討し、1名を推薦した。
- 本会所有のJISについて5年見直しを実施した。
- 本会所有のJISについて審議し、メンテナンス等について検討した。
- 各ISO国内委員会の現状と課題について、情報交換を行った。
- ISO/TC108/SC5国内委員会の企画により、ISO・JIS・学会基準委員会主催講習会「グローバル技術者必須!! 機械の状態監視と診断技術 基礎・実践ノウハウと応用例・規格（初心者向け、初中級者向け）」を開催した。

〔所属委員会〕

ISO/TC5/SC10国内委員会

委員長 澤 俊行 他13名、開催0回

- ISO/SC10の当該ASME関係者と意見交換し、国際規格案（JIS導入）の可能性を探った。
- ISO7005-1（鋼製フランジ）改訂作業を行うWG1の再開に関する投票において賛成意見の投票を行った。結果、賛成7、反対1、棄権6で承認された。
- Carlos Davila氏の同WG1 Convenor就任（任期3年）に関する投票において賛成意見の投票を行った。結果、賛成7、反対0、棄権7で承認された。
- ISO7005-2（鋳鉄フランジ）の改訂作業を行うWG2の再開に関する投票において賛成意見の投票を行った。結果、賛成6、反対1、棄権7で承認された。
- Matthew Coffey氏の同WG2 Convenor就任（任期3年）に関する投票において賛成意見の投票を行った。結果、賛成6、反対0、棄権8で承認された。
- その後、米国（ANSI）がTC5のP/Oメンバから外れ、SC10の議長も空席となっている。

ISO/TC30国内委員会

委員長 香川 利春 他17名、開催2回

- 審議案件に対して投票（賛成・反対・棄権）を行った。
- 2022年7月12日に国内委員会をオンラインで実施した。（出席者9名）
- 2022年10月にロンドンで開催された国際会議にオンラインで参加した。（参加者1名）
- 2023年1月23日に国内委員会の見学会（オーバル横浜事業所）を実施する。（出席予定12名）

ISO/TC108国内委員会

委員長 山本 浩 他18名（2023年1月18日現在）、開催0回（メール審議のみ実施）

- 国際規格案を審議し投票（Systematic Review確認7、棄権2）を行った。
- TC108/WG28のConvenorの任期3年延長に関し賛成投票を行った。

ISO/TC108/WG33、34国内委員会

委員長 大田 明博 他17名、開催0回

- 国際規格案を審議し投票（賛成・反対・棄権）を行った（メール審議）。

ISO/TC108/SC2国内委員会

委員長 本井 久之 他19名、開催0回

- 国際規格案を審議し投票（すべて賛成または確認）を行った。
FDIS：2件（ISO/FDIS20816-3、ISO・FDIS21940-21）
DIS：0件
SR：12件（ISO13373-7:2017、ISO14839-4:2012、ISO20283-2:2008、ISO20283-4:2012、ISO20816-2:2017、ISO21940-13:2012、ISO21940-14:2012、ISO21940-23:2012、ISO21940-2:2017、ISO21940-32:2012、ISO4863:1984、ISO/TS14837-32:2015）

ISO/TC108/SC2/WG7国内委員会

委員長 藤原 浩幸 他11名、開催1回

- 国際規格案ISO14839-4の定期見直し投票（賛成）を行った。
- JIS規格の見直し検討を行った。

ISO/TC108/SC4国内委員会

委員長 柴田 延幸 他10名、随時メールによる審議

- 国際規格案を審議し投票（賛成・反対・棄権）を行った。
- 国際会議（9/27-28：web開催）に3名が参加した。

ISO/TC108/SC5国内委員会

委員長 井上 剛志 他32名、開催2回

- 国際規格案を審議し投票（賛成・反対・棄権）を行った。
- 2022年4月25日に、2022年度第1回国内委員会をオンライン開催した。（出席者19名）。
- 2022年5月11日に、ISO/TC108/SC5国際会議（リモート開催）へ国内委員会より3名が出席し審議を行った。
- ISO/TC108/SC5第25回全体会議の日本開催がTCマネージャより要請され、2023年10月3日～7日に京都で開催することを決定した（2022年7月）。国内委員会で準備WGを組織し検討を開始した。
- 2022年11月24日に、2022年度第2回国内委員会をオンライン開催した。（出席者22名）。
- 状態監視マネジメント（WG18）に関して関連事例の検討を継続すると共に、第2回国内委員会にて、日本アセットマネジメント協会理事長による講演会を開催した。
- 委託出版「機械システムの状態監視と診断技術」（2021年6月3日初版）の重版を2022年7月5日に発行した。
- 日本開催が決定した国際会議に向け、関連技術・国際規格のJISME講習会を、2022年11月11日（初心者対象）と11月18日（初中級者対象）の2日間で開催した。（参加者はそれぞれ96名、109名）。

ISO/TC123国内委員会

委員長 森下 信 他31名、開催15回

- 国際規格案を審議し投票（賛成・反対・棄権）を行った。
- 標準化テーマ調査（国際標準開発推進事業）の回答を

- 行った。
3. 2022年4月20日にWebにて2022年度第1回平軸受国内本委員会を実施した。(出席者22名)
 4. 2022年5月16日にWebにて2022年度第1回THL計算原案作成部会を実施した。(出席者7名)
 5. 2022年5月20日にWebにて2022年度第1回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者15名)
 6. 2022年6月21日にWebにて2022年度第2回THL計算原案作成部会を実施した。(出席者7名)
 7. 2022年6月21日にWebにて2022年度第2回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者17名)
 8. 2022年7月22日にWebにて2022年度第3回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者14名)
 9. 2022年8月23日にハイブリッドにて2022年度第2回平軸受国内本委員会を実施した。(出席者21名)
 10. 2022年9月21日にWebにて2022年度第4回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者17名)
 11. 2022年10月13日にWebにて2022年度第5回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者13名)
 12. 2022年11月4日にハイブリッドにて2022年度第6回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者14名)
 13. 2022年11月14日にWebにて2022年度第7回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者13名)
 14. 2022年11月23日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(SC2)に代表者が参加した。(出席者12名)
 15. 2022年11月23日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(SC3)に代表者が参加した。(出席者12名)
 16. 2022年11月24日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(SC5)に代表者が参加した。(出席者12名)
 17. 2022年11月24日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(SC7)に代表者が参加した。(出席者13名)
 18. 2022年11月24日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(SC6)に代表者が参加した。(出席者12名)
 19. 2022年11月25日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(SC8)に代表者が参加した。(出席者12名)
 20. 2022年11月25日にハイブリッドにてISO/TC123国際会議(TC123)に代表者が参加した。(出席者12名)
 21. 2022年12月13日にハイブリッドにて2022年度第3回平軸受国内本委員会を実施した。(出席者22名)
 22. 2023年1月23日にWebにて2022年度第8回平軸受国内小委員会を実施した。(出席者15名)
 23. 2023年2月6日にハイブリッドにて2022年度第4回平軸受国内本委員会を実施した。(出席者21名)

1・10・15 臨時委員会

1) 年次大会企画WG

委員長 梅川 尚嗣 他13名, 開催1回

1. 2022年度年次大会の開催報告を行い, 受付方法やプログラム編成方法などの情報を共有した。
2. 2023年度年次大会の理事会や各委員会企画の実施状況を確認した。
3. 年次大会の今後の運営方法について意見交換を行った。

2) メカジョ未来フォーラム2022秋実行委員会

実行委員長 西 美奈 他6名, 開催1回

1. 2022年7月設置。
2. 2022年11月2日(水)にオンラインにて理系女性学生向けイベント「メカジョ未来フォーラム2022秋」を開催。特別講演1件, 出展28社。

1・10・16 各種会議開催

(審議会・部会・部門・専門会議・センター・委員会・分科会・研究会)

種 別	設 置 数	開 催 回 数
経営企画委員会	1	5
情報の事業化検討WG	1	3
技術者継続教育WG	1	3
年次大会活性化検討WG	1	2
支部協議会	1	2
部門協議会	1	3
部門	22	84
専門会議・推進会議	2	3
分科会	7	20
研究会	102	172
事業アドバイザー委員会	1	2
人材育成・活躍支援委員会	1	3
技術ロードマップ委員会	1	4
ISO・JIS・学会基準委員会	1	3
ISO国内委員会	9	20
JABEE事業委員会	1	2
機械状態監視資格認証事業委員会	1	2
計算力学技術者資格認定事業委員会	1	3
研究協力事業委員会	1	3
研究協力事業委員会所属分科会(RC)	7	39
研究協力事業委員会所属分科会(RS)	0	0
発電用設備規格委員会	1	4
専門委員会	4	16
広報・情報部会	1	2
学術誌編修部会	1	2
出版センター	1	2
分科会	1	0
会員部会	1	3
学生員委員会	1	1
Ladies' Association of JSME	1	2
JSME International Union	1	1
表彰部会	1	3
日本機械学会賞委員会	1	2
優秀製品賞選考委員会	1	1
女性未来賞選考委員会	1	1
標準事業表彰選考委員会	1	1
部門評価委員会	1	5
分野連携委員会	1	3
技術者倫理委員会	1	4
フェロー選考委員会	1	2
若手の会	1	4
防災・減災委員会	1	1
国際連携委員会	1	0
機械遺産監修委員会	1	1
臨時委員会(理事会所属)・WG		
年次大会企画WG	1	1
メカジョ未来フォーラム2022秋実行委員会	1	1
「機械の日」実行委員会	1	2

計 192 組織 計 443 回

2. 公益目的支出計画に係る事項

2・1 機械の日・機械週間、機械遺産

- 1) 2022年度「機械の日」実行委員会
 実行委員長 宮川 和芳 他9名 開催2回
 1. 2022年1月に発足した上記実行委員会を開催した。
 2. 2022年8月7日(日)に早稲田大学121号館において、
- 「機械の日」記念イベントを開催し、記念講演、機械遺産認定式、第20回「流れの夢コンテスト」、早稲田大学理工学術院研究室見学、絵画コンテスト優秀作品展示を行った。

2022年度「機械の日・機械週間」主要企画

記念講演	2022年8月7日 記念講演3件 参加者数約90名 (1)『機械工学の将来』 三菱重工業(株) 常務CTO 伊藤 栄作 氏 (2)『スマートロボットが活躍する未来社会』 早稲田大学 理工学術院長 教授 菅野 重樹 氏 (3)『未来の航空宇宙機 ～極超音速機からドローンまで～』 早稲田大学 理工学術院基幹理工学部 教授 佐藤 哲也 氏
絵画コンテスト	テーマ「夢の機械・未来の機械」 表彰：11件(75件中)
機械遺産	3件認定表彰 報告者：小野寺 英輝(岩手大学)
懇親会	開催なし
実行委員会組織、支出額	委員長：宮川 和芳(早稲田大学) 約60万円
機械週間行事数	49件
マスコミ報道数	約9件

- 2) 機械遺産監修委員会
 委員長 藤江 正克 他7名 開催1回
 機械遺産委員会より上申のあった2022年度認定候補(別掲)を監修、承認した。
- 3) 機械遺産委員会
 委員長 小野寺 英輝 他9名 開催5回
- 機械遺産候補を評価選定し、機械遺産監修委員会に上申した。
 4) 「機械遺産」の総合的な見直しWG
 リーダー 長島 昭 他4名、開催2回
 WGを発足し、認定指針等の見直し、検討を行った。

2・2 2022年度 年次大会

行 事	開催日	会 場	参加者数
研究発表(860題) 付随行事	2022.9.11~14 2022.9.12~14	富山大学五福キャンパス	1,857名
特別講演(2件) 梶田隆章, 新田八朗	2022.9.13		
先端技術フォーラム(15件)	2022.9.11~14		
ワークショップ(13件)	2022.9.12~14		
基調講演(17件)	2022.9.12~14		
理事会企画(9件)	2022.9.12~14		
企業セミナー(18社)	2022.9.13		
市民フォーラム(7件)	2022.9.11~12		
その他(3件)	2022.9.12~13		
技術・書籍・カタログ展示(22社)	2022.9.11~14		
広告掲載(バナーのみ含む/12件)			
懇親会	中 止		
同好会(一部実施)	2022.9.11		

2・3 「機械工学振興事業資金」助成事業

2・3・1 「メカライフの世界」展(2022年度「機械工学振興事業資金」助成行事)

申請組織	開催日	行事名	会場	参加人数
北海道支部	2022.8.6	機械ロボット工学体験ツアー	室蘭工業大学 理工学部 創造工学科 機械ロボット工学コース各研究室	104名
	2022.10.1	～メカライフの世界展～ 風の力で動くおもちゃを作ってみよう	釧路工業高等専門学校	18名
東北支部	2022.10.8～9	さわって動かす機械とロボット	一関工業高等専門学校	160名
北陸信越支部	2022.7.23	3D-CADを体験してみよう!	福井工業高等専門学校	30名
	2022.8.5～6, 8.29	音のふしぎな世界 ～音を見て、音に触れて、音について学んでみよう～	富山県立大学, オンライン開催	39名
	2022.8.6	長岡技術科学大学における機械工学分野研究室の紹介と実験実演	長岡技術科学大学	200名

申請組織	開催日	行事名	会場	参加人数
関東支部	2022. 10. 15	「メカライフの世界」展 わくわくどきどき、メカニカル！ 2022	群馬大学理工学部桐生キャンパス	139名
東海支部	2022. 6. 5, 7. 16～17, 8. 6～7	メカライフの世界展	大同大学、岐阜工業高等専門学校	1,381名
関西支部	2022. 11. 19～20	関西学生会による「メカライフの世界」展の開催	バンドー神戸青少年科学館	602名
中国四国支部	2022. 7. 30, 8. 1, 12. 10	連射のできるゴム鉄砲を作ろう！ ～みんなの知らない工作機械とレーザー加工体験～	広島県立みよし公園カルチャーセンター、松江工業高等専門学校、益田市市民学習センター	54名
	2022. 12. 7	作りながら学ぶメカライフの素	弓削商船高等専門学校	69名
九州支部	2022. 7. 17～18	体験！身近なエネルギーと振動&フォーミュラカー	北九州市立大学ひびきのキャンパス	467名
	2022. 8. 4	北九州工学体験工房	九州工業大学戸畑キャンパス	23名
	2022. 8. 6	2022 メカワールド in Kagoshima University	鹿児島大学工学部	80名
	2022. 8. 7	熊本高等専門学校オープンキャンパス 「モノづくりを体験しよう」	熊本高等専門学校八代キャンパス	426名
	2022. 8. 10	メカライフの世界展・ ようこそメカニカルワールド 2022へ	佐賀大学本庄キャンパス	70名
	2022. 10. 22～23	楽しいメカニカルワールド	長崎市科学館	5,121名
	2022. 10(中止)	地方発 親子で体験メカワールド 2022	日本文理大学一木キャンパス	中止
	2022. 11. 3	夢科学探検 2022	熊本大学黒髪南キャンパス	300名
	2022. 11. 3	メカトピア 2022	久留米工業高等専門学校	120名
	2022. 11. 5～6	サイエンスワールド 2022	九州大学伊都キャンパス	1,360名
	2022. 11. 5～6	造大祭2022 メカライフの世界展	長崎総合科学大学 食堂内	83名
	2022. 11. 6(中止)	発展するメカ ロボットと遊ぼうー/ お湯で動く機械 低温度差スターリングエンジン	大分大学日野原キャンパス	中止
	2022. 11. 13	「メカライフの世界」展 ようこそメカワールドへ	都城工業高等専門学校	204名
	2022. 11. 26	工作体験「ウインドカーを作ってみよう」	鹿児島工業高等専門学校	19名
	2023. 1. 16, 2. 13, 2. 20	炭素鋼の硬さに及ぼす熱処理の影響	宮崎大学工学部	16名
合計	24件			11,085名

2・3・2 その他（2022年度「機械工学振興事業資金」助成行事）

申請組織	開催日	行事名	会場	参加人数
東北支部	2022. 8. 7	令和4年度第1回子どもものづくり教室 ～陽極酸化でカラフルなチタンプレートをつくろう～	秋田大学理工学部 アクティブラーニング棟	44名
北陸信越支部	2022. 10～11(中止)	光芒祭（学園祭）におけるロボット展示	信州大学工学キャンパス	中止
関東支部	2022. 7. 18	第11回一日体験理工学教室 機械の学校 ハイブリッド 「電子・機械・材料・知能制御編」	群馬大学桐生キャンパス、 オンライン	126名
	2022. 7～11(中止)	2022年度 第27回 小中高生向けイベント メカメカフェア 2022	群馬大学桐生キャンパス	中止
	2022. 8. 22	2022年度 第8回 機械の学校in高専	群馬工業高等専門学校、 オンライン	24名
東海支部	2022. 8. 6	小・中学生のためのものづくり体験教室	産業技術記念館（名古屋市）	73名
関西支部	2022. 6. 18, 7. 17, 7. 30, 8. 20, 10. 10, 12. 10	親子の理科工作教室	バンドー神戸青少年科学館等 7会場	101名
九州支部	2022. 8. 22, 9. 23, 9. 24, 11. 3, 11. 26, 12. 11, 12. 19, 2023. 1. 27, 2. 18, 2. 23	おもしろメカニカルワールド	オンライン、または、九州各県	513名
動力エネルギーシステム部門	2022. 8. 4	JSMEジュニア会友 機械の日企画 「親子見学会 ～身近なエネルギーについて学び、 将来を考えよう～」	ガスの科学館「がすてな～に」	10名
環境工学部門	2022. 7. 30	夏休み親子向けイベント企画「熱を体験してみよう」	オンライン開催	19名
生産加工・ 工作機械部門	2022. 9. 8	理工系大学生・大学院生・高専生を対象としたセミナー 『ものづくり最前線』	株式会社牧野フライス製作所 厚木事業所	26名
宇宙工学部門	2022. 9. 11	市民フォーラム「モデルロケット教室」	富山大学	79名
一般	2022. 6. 19	知能ロボットコンテスト・フェスティバル2022	オンライン開催	100名
	2022. 7. 23, 8. 6	小中学生を対象とした理科工作教室 (圧電ギターと圧電うちわの製作)	さいたま市子ども家庭総合センター「あいばれっと」	37名
	2022. 8. 23～24	夏休みキッズ科学技術セミナー	北海道科学大学 F棟 ロボ ティクス工房	74名
	2022. 11. 8, 11. 15, 11. 22	令和4年度 埼玉県松伏町科学教室	埼玉県松伏町立 松伏小学校、 松伏第二小学校、金杉小学校	225名
合計	14件			1,451名

2・4 国際連携委員会

委員長 中曾根 祐司 他7名 開催0回

1. 韓国機械学会 (KSME) 主催のKSME Annual Meeting 2022 International Sessionに小原拓教授 (東北大学) を派遣し、基調講演を行った。
2. タイ機械学会 (TSME) 主催のThe 12th Thai Society of Mechanical Engineers International Conference on Mechanical Engineering (TSME-ICoME 2022) に加藤千幸会長と、花村克悟国際連携委員会委員、平井秀一郎教授 (東京工業大学) を派遣した。加藤会長が開会式でのスピーチを行うと共に、平井教授が基調講演を行い、TSMEと本会との協力関係を確認した。
3. 韓国機械学会 (KSME) がホスト国となり、本会、中国機械工程学会 (CMES) と3団体でオンラインによるジョイントセッションを実施し、本会から会長と飯山明裕教授 (山梨大学) を派遣し講演を行った。伊藤宏幸筆頭副会長と中曾根国際連携委員会委員長が出席した。
4. 本会が米国機械学会 (ASME)、中国原子力学会 (CNS) との共催で実施する国際会議 (The 29th International Conference on Nuclear Engineering) において、会長挨拶をビデオレターで送付した。

2・5 定期刊行物〔日本機械学会学術誌／ Bulletin of JSME (電子版)〕

- (1) 日本機械学会論文集／Transactions of the JSME (in Japanese)
今期は、Vol. 88, No. 907～Vol. 89, No. 918の計12号を発行した。
本公開前に可決になった論文から早期公開を行った。
次のテーマの特集号を発行した。
Vol. 88 (2022), No. 907: 動力・エネルギーシステムの最前線2022
企画カテゴリ: 熱工学, 内燃機関, 動力エネルギーシステム
企画部門: 動力エネルギーシステム部門
Vol. 88 (2022), No. 910: 機械力学・計測制御分野特集号2022
企画カテゴリ: 機械力学, 計測, 自動制御, ロボティクス, メカトロニクス
企画部門: 機械力学・計測制御部門
Vol. 88 (2022), No. 914: 設計工学とシステム工学の新展開2022
企画カテゴリ: 設計, 機素・潤滑, 情報・知能, 製造, システム
企画部門: 設計工学・システム部門
Vol. 88 (2022), No. 915: TRANSLOG2021 & J-RAIL2021
企画カテゴリ: 交通・物流
企画部門: 交通・物流部門
- (2) Mechanical Engineering Journal
今期は、Vol. 9, No. 2～Vol. 10, No. 1の計6号を発行した。
本公開前に可決になった論文から早期公開を行った。
次のテーマの特集号を発行した。
Vol. 9 (2022), No. 4: Nuclear Energy the Future Zero

Carbon Power

企画カテゴリ: Thermal, Engine and Power Engineering
企画部門: 動力エネルギーシステム部門

Vol. 9 (2022), No. 4: Advances in Research and Development of Power and Energy Systems

企画カテゴリ: Thermal, Engine and Power Engineering
企画部門: 動力エネルギーシステム部門

- (3) Mechanical Engineering Letters

今期は、Vol. 8, 9を発行した。

- (4) Journal of Fluid Science and Technology

今期は、Vol. 17, No. 1～Vol. 18, No. 1の計5号を発行した。

企画部門: 流体工学部門

次のテーマの特集号を発行した。

Vol. 17 (2022), No. 3: Recent Advances in Flow Dynamics 2021

- (5) Journal of Thermal Science and Technology

今期は、Vol. 17, No. 1～Vol. 18, No. 1の計4号を発行した。

企画部門: 熱工学部門

次のテーマの特集号を発行した。

Vol. 17 (2022), No. 2: Special Issue of The 11th International Symposium on Solar Energy and Efficient Energy Usage (11th SOLARIS 2021)

- (6) Journal of Biomechanical Science and Engineering

今期は、Vol. 17, No. 2～Vol. 18, No. 1の計4号を発行した。

企画部門: バイオエンジニアリング部門

本公開前に可決になった論文から早期公開を行った。

次のテーマの特集号を発行した。

Vol. 17 (2022), No. 3: Special Issue on Recent Advances and Future Directions in Biomechanics - Asian-Pacific Association for Biomechanics

- (7) Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing

今期は、Vol. 16, No. 1～Vol. 17, No. 2の計8号を発行した。

企画部門: 機素潤滑設計部門, 設計工学・システム部門, 生産加工・工作機械部門, 生産システム部門, 情報・知能・精密機器部門

次のテーマの特集号を発行した。

Vol. 16 (2022), No. 4: Special Issue on Advanced Production Scheduling 2021

企画部門: 生産システム部門

Vol. 16 (2022), No. 5: Special Issue on Design, Concurrent Engineering and Smart Manufacturing Towards Highly Digitalized Society

企画部門: 生産システム部門

Vol. 17 (2022), No. 1: Special Issue on Advanced Manufacturing Technology

企画部門: 生産加工・工作機械部門

なお、これら学術誌は、科学技術振興機構 (JST) のホームページ (J-STAGE) 上に登載し、オープンアクセスで公開している。詳細は表1参照。

学術誌HP: <http://www.jsme.or.jp/bulletin/index.html>

表1 日本機械学会学術誌／Bulletin of the JSME（電子版）

(2022. 3. 1 ~ 2023. 2. 28)

Journal名／ 掲載アドレス	巻 Vol.	号 No.	掲載日	Preface他 掲載数	Papers 掲載数	総掲載数
日本機械学会論文集/Transactions of the JSME (in Japanese) https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transjsme	88	907	2022/ 3 /25 一斉公開	1	21	22
	88	908	2022/ 4 /25 一斉公開	0	15	15
	88	909	2022/ 5 /25 一斉公開	0	16	16
	88	910	2022/ 6 /25 一斉公開	0	32	32
	88	911	2022/ 7 /25 一斉公開	0	22	22
	88	912	2022/ 8 /25 一斉公開	0	15	15
	88	913	2022/ 9 /25 一斉公開	0	20	20
	88	914	2022/10/25 一斉公開	1	18	19
	88	915	2022/11/25 一斉公開	1	25	26
	88	916	2022/12/25 一斉公開	0	15	15
	89	917	2023/ 1 /25 一斉公開	0	19	19
	89	918	2023/ 2 /25 一斉公開	0	15	15
			小 計	3	233	236
Mechanical Engineering Journal https://www.jstage.jst.go.jp/browse/mej	9	2	2022/ 4 /15 一斉公開	0	4	4
	9	3	2022/ 6 /15 一斉公開	0	8	8
	9	4	2022/ 8 /15 一斉公開	1	25	26
	9	5	2022/10/15 一斉公開	0	5	5
	9	6	2022/12/15 一斉公開	0	9	9
	10	1	2023/ 2 /15 一斉公開	0	7	7
			小 計	1	58	59
Mechanical Engineering Letters https://www.jstage.jst.go.jp/browse/mel	8	0	2022/ 4 /17- 随時公開	0	2	2
	9	0	2023/ 1 /19- 随時公開	0	1	1
			小 計	0	3	3
Journal of Fluid Science and Technology https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jfst	17	1	2022/ 5 /13- 随時公開	0	2	2
	17	2	2022/ 7 /13- 随時公開	0	2	2
	17	3	2022/10/ 1 一斉公開	1	4	5
	17	4	2022/11/17- 随時公開	0	5	5
			小 計	1	13	14
Journal of Thermal Science and Technology https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jtst	17	1	2022/ 3 /25- 随時公開	0	5	5
	17	2	2022/ 5 /18 一斉公開	1	5	6
	17	3	2022/ 5 /23- 随時公開	0	14	14
	18	1	2023/ 1 / 4 - 随時公開	0	1	1
			小 計	1	25	26
Journal of Biomechanical Science and Engineering http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jbse	17	2	2022/ 5 /10 一斉公開	0	5	5
	17	3	2022/ 8 /25 一斉公開	1	7	8
	17	4	2022/10/ 4 一斉公開	0	5	5
	18	1	2023/ 1 /16 一斉公開	0	5	5
			小 計	1	22	23
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jamdsm	16	1	2022/ 3 / 1 - 随時公開	0	3	3
	16	2	2022/ 5 /23- 随時公開	0	5	5
	16	3	2022/ 8 /16- 随時公開	0	9	9
	16	4	2022/10/30 一斉公開	1	11	12
	16	5	2022/10/31 一斉公開	1	16	17
	16	6	2022/11/ 9 - 随時公開	0	5	5
	17	1	2023/ 1 / 1 一斉公開	1	14	15
	17	2	2023/ 1 / 4 - 随時公開	0	12	12
			小 計	3	75	78
総合計				10	429	439

2・6 表彰事業

1. 日本機械学会賞（技術功績）3件, 同（論文）16件, 同（技術）5件, 日本機械学会奨励賞（研究）20件, 同（技術）18件, 日本機械学会教育賞4件を決定した。（別掲）
 2. 日本機械学会優秀製品賞1件を決定した。（別掲）
 3. 日本機械学会畠山賞（2022年度）受賞者として341名を決定した。
 4. 日本機械学会三浦賞（2022年度）受賞者として219名を決定した。
 5. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞123件を決定した。
 6. 標準事業表彰（2022年度）受賞者として5名を決定した。
 7. 日本機械学会女性未来賞（2022年度）受賞者として5名を決定した。
 8. 文部科学大臣表彰若手科学者賞候補7件, FA財団論文賞候補3件, 油空圧機器技術振興財団論文賞候補1件, 工作機械技術振興財団論文賞候補4件等を推薦した。
-